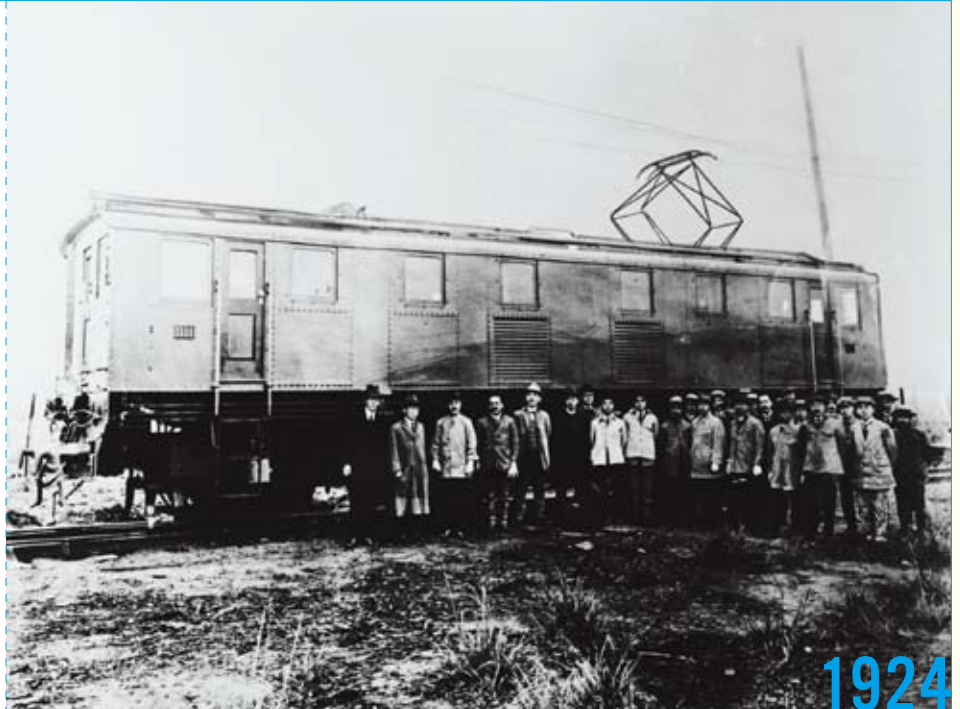
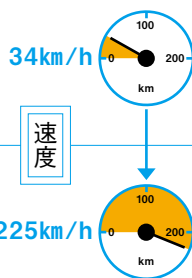


# 電車



1924



2007

日本の鉄道は鉄道発祥国イギリスの技術指導のもとに育てられ、機関車も長らく輸入に頼ってきた。その転機となったのが、日立の電気機関車。日立創業者の小平浪平は、国産の大型電気機関車の製作を決意。機械部は笠戸工場、電気部は日立工場で分担し、1924(大正13)年に完成。全3両が鉄道省に納められ、ED15形機関車として昭和30年代まで活躍した。

2009年に開業する英国初の高速鉄道CTRL線(ロンドンドーバー)には、軽量で剛性の高いダブルスキン構造をもつ日立の新型高速車両が採用された。日本の鉄道車両、ついに鉄道の母国へ!

編集後記

ひたち 2008 Vol.70 No.3 Summer

発行人 荻原 淳

編集人 伴野 明

発行所 日立評論社

〒101-8608 東京都千代田区外神田 1-18-13

企画・編集 ◎株式会社 日立製作所

コーポレート・コミュニケーション本部 宣伝部

tel.03-3258-1111 (大代表)

制作 株式会社アルシーヴ社

デザイン 河合千明デザイン室

印刷 ◎日立インターメディックス株式会社

取次店 株式会社オーム社

〒101-8460

東京都千代田区神田錦町 3-1

tel.03-3233-0641 (代表)

今号からレイアウトを一新し、特集ページはより読みごたえのあるように、また好評をいただいている日立情報を中心にした連載記事も、一覽性を工夫しました。新連載の「新学入門」では、ビジネスや生活の場面でも「目からうろこ」の発見があるような学問をとりあげます。

今後とも『ひたち』をご愛顧いただきますよう、お願いいたします。(伴野)

特集では、人の手による「自然」として注目されている、里山再生や林業、植林などの現場を取材しました。自然保護・再生のために、人の手で何ができるかを考えるヒントになればと思います。(岩井)

◎本誌ホームページ◎ [www.hitachi.co.jp/Sp/hitachi/](http://www.hitachi.co.jp/Sp/hitachi/)